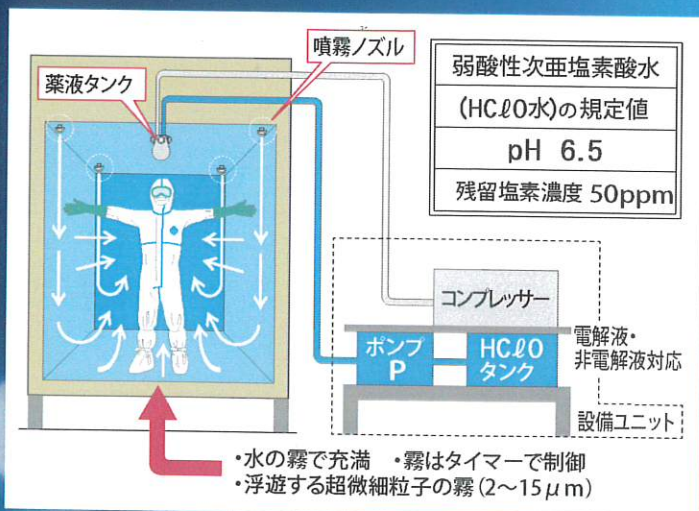


## 装置開発の経緯と装置の説明

- ①10年以上前より老人保健施設のデイルームにインフルエンザ対策、加湿、消臭を目的に次亜塩素酸水溶液を超音波加湿噴霧しています。この度の新型コロナ感染症において防護服に付着した菌を除菌する装置を開発し医療従事者が少しでも感染リスクを低減出来ないか、救急隊員が救急搬送後、感染リスクを低減出来ないかと考えました。
- ②密閉された空間に2流体式の噴霧ノズルヘッドを室内上方に4箇所設置し床面に向けて噴霧します。噴霧ヘッド位置、噴霧角度、噴霧圧力、噴霧量を試験調整を繰り返し、床面より少し渦を巻きながら立ち上る浮遊する霧の対流を作る事により、身体衣服の股下、脇下、エプロンの裏側まで露出表面であれば満遍なく次亜塩素酸水溶液を付着させる事に成功しました。
- ③使用する次亜塩素酸水溶液は、次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸水溶液を混合させ水で希釈させた混合式非電解、次亜塩素酸水溶液：CELA水（pH6.5、残留塩素濃度50ppm）を使用しています。非電解式の次亜塩素酸水溶液：CELA水は、電解式と比較して保存性が高い為採用しています。
- ④噴霧する時間によって付着量は変化しますので付着量の調整は可能です。
- ⑤基本的なユニットは、設備ユニットと噴霧室の2つから構成しており、100V15Aのコンセントとスペースがあればどこにでも設置する事が出来ます。
- ⑥噴霧室の代替としてユニットバスを利用する事も検討中です。室内容積や形状が異なる為ユニットバスメーカーと共同にて検証する必要があります。
- ⑦室内据え置き型の噴霧室は、断熱金属パネル等にて設置する事も可能です。



## 弱酸性次亜塩素酸水噴霧による 身体及び衣類の除菌空間装置

弱酸性次亜塩素酸水 (非電解 pH6.5 残留塩素濃度50ppm) 使用

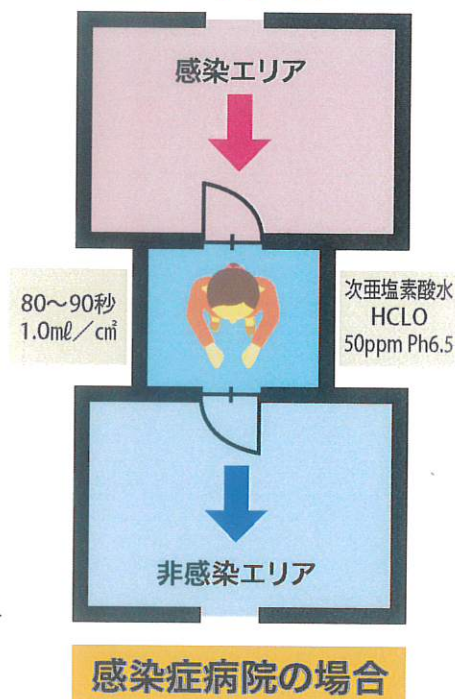
60~90秒で全身の表面に満遍(まんべん)なく  
「次亜塩素酸水溶液」を1.0mg/cm<sup>2</sup>以上付着

# SF-G (Sterilization Fog-Gate)

設置をお勧めする場所

- ①病院
- ②検疫所
- ③老人福祉施設
- ④空港、港
- ⑤駅、長距離バス発着場
- ⑥映画館
- ⑦美術館、博物館
- ⑧資料館
- ⑨スポーツ観戦施設
- ⑩観劇場
- ⑪コンサート会場
- ⑫文化会館
- ⑬公設市場
- ⑭調理場、給食センター
- ⑮食品工場
- ⑯オリンピック選手村
- ⑰市民交流施設
- ⑱研究所
- ⑲障害者施設
- ⑳公衆浴場
- ㉑事務所
- ㉒工場
- ㉓遊技場
- ㉔飲食店
- ㉕旅館・ホテル
- ㉖キャバレー・ナイトクラブ
- ㉗百貨店・スーパーマーケット
- ㉘物品販売店
- ㉙他

### ゲートタイプ



# SF-B (Sterilization Fog-Booth)

設置をお勧めする場所

- ①病院
- ②検疫所
- ③役場、公民館
- ④学校教育施設
- ⑤保育所
- ⑥児童館、放課後児童クラブ
- ⑦市民交流施設
- ⑧障害者施設
- ⑨老人福祉施設
- ⑩防災施設(消防施設)
- ⑪公設市場
- ⑫高速道路SA・PA
- ⑬コンビニエンスストア
- ⑭商店街
- ⑮歓楽街
- ⑯自宅のユニットバス内
- ⑰旅館・ホテル
- ⑱事務所
- ⑲工場
- ⑳遊技場
- ㉑飲食店
- ㉒カラオケ店
- ㉓マッサージ・エステ店
- ㉔キャバレー・ナイトクラブ
- ㉕百貨店・スーパーマーケット
- ㉖物品販売店
- ㉗理髪・美容店
- ㉘建設現場
- ㉙他

### ブースタイプ

